

授業科目名	現代政治の理論と実際	科目コード	G411713
科目区分	教養教育科目	開講時期	後期
学部・学科等	共通教育	曜日	月曜日
必修・選択区分	選択	時限	1～2
標準対象年次	1,2,3,4	授業形態	講義
単位数	2	教室名	イメージラボ I (峰)
担当教員名	中村 祐司		
電話番号 (代表者名)	028-649-5181	e-mailアドレス	yujin@cc.utsunomiya-u.ac.jp
オフィスアワー	(月) 13:00-14:00 中村祐司研究室		
授業の概要	<p>【授業の到達目標】 考察の対象を国内外に向け、国家間関係の変容や国家戦略を把握し、国際組織からコミュニティ組織までの様々な諸アクターの可能性を探る。</p> <p>【前提とする知識・経験】 「現代政治」という語に触れて何かしらの興味と関心を持つ者であること。</p> <p>【授業の具体的な進め方】 例えば、旧ソビエトの崩壊によって唯一の超大国となったアメリカ、経済面を軸として新たな統合を模索するEU諸国、台頭著しい中国やインド、そして政治・経済の停滞からなかなか抜け出すことのできない日本など、先進諸国における国家戦略の変容を理解する。</p> <p>【授業計画】 第1週 現代社会における国家（中央政府）の役割と課題 第2週 現代政治へのアプローチ方法と分析の視角 第3週 現代政治における権力、イデオロギー、利害 第4週 国家構造の変動と政治・経済・社会の変容 第5週 中米関係と中台、日中関係の変容 第6週 戦後の中国政治の変化 第7週 国際政治における中国 第8週 日本の対北朝鮮政策の特質と拉致問題 第9週 北朝鮮問題をめぐる国際組織の役割と課題 第10週 朝鮮半島エネルギー開発機構（KEDO）をめぐる国家間関係 第11週 国際NGO組織による北朝鮮支援の特質 第12週 ロシア・中国の対北朝鮮政策をめぐる同質性と差異 第13週 北朝鮮問題をめぐる中国の対応 第14週 北朝鮮の食糧難をめぐる国際支援の実際 第15週 中国をめぐる政治的安定の可能性と諸国家の関わり</p> <p>【教科書・参考書・教材】 教科書 中村祐司著『“とちぎ発” 地域社会を見るポイント100』（下野新聞新書2）。 *教科書は講義2回目ないしは3回目に教室内で一括して配布(1,000円)します。</p> <p>【成績評価法】 出席 (30%)、期末に提出するレポート内容 (40%)、講義やレポートをめぐりディスカッションの際の積極的発言と発言内容 (30%)。秀は上記各評価において極めて優秀な結果(例えば全出席、的を射た質問や意見の提示、卓越したレポート内容)を出した受講生に与える。</p> <p>【教員からのメッセージ】 現在の「政治」に何らかの関心がある学生には、得るところの多い授業にしたい。この講義の成果(レポート)を積極的にインターネット上に公開していきたい。なお、履修を検討するにあたって受講生には「宇都宮大学国際学部行政学(中村祐司)研究室」のホームページ http://gyosei.mine.utsunomiya-u.ac.jp/を参照願いたい(Yahoo Japan)等の画面で「中村祐司」で検索するとアクセス可。</p>		